

べっぴん 市議会だより

No.181
2026.2.1

“別府の歴史的、文化的に貴重な価値を次世代に引き継いでいく”



CONTENTS

- P 2 主な議案の概要
- P 3 議決結果
- P 4~6 議案質疑
- P 7 常任委員会審査
- P 8~13 一般質問(12人が市政を問う)
- P 14 令和7年度 各常任委員会視察の報告
- P 15 広報広聴委員会の取組について・議会用語の解説 ほか
- P 16 別府市議会議員定数のあり方に関する意見交換会について
編集後記

議場クリスマスコンサートの様子

演奏：別府市民フィルハーモニア管弦楽団



令和7年第4回定例会で34の議案を可決！

12月2日から12月17日までの16日間にわたり開催された今定例会では、予算関係5件、条例関係14件、その他12件の議案が上程されました。

また、定例会最終日には市長より追加議案として予算関係1件、議会より議員提出議案1件、議員派遣1件が上程されました。

市長提案理由では、別府市美術館の貴重な作品の収蔵スペースを整備し、美術館機能

の拡充を図るための経費や、物価高騰の影響を受けている市民への支援事業に要する経費に関する補正予算の説明があり、議案質疑で活発な議論が行われました。

採決においては、1件の議案について一部議員から反対する旨の意思表示がありましたが、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

～主な議案の概要～

●別府市一般会計補正予算(第4号)

※表中の金額は、1万円未満の額を切り捨てて表示しています。

美術館施設整備に要する経費・・・・・・・・・・ 5,931万円

美術館1階機械室を収蔵庫に改修し、貴重な作品の収蔵スペースの確保を図ります。

●別府市一般会計補正予算(第5号)

※表中の金額は、1万円未満の額を切り捨てて表示しています。

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用事業

(1)物価高騰対策工ール券発行に要する経費・・・・・・・・ 12億1,429万円

個人消費の下支えにより市内経済の活性化を図るため、プレミアム商品券を発行します。

(2)物価高騰対策に要する経費・・・・・・・・・・ 5,882万円

物価高騰の影響を受けている市民の経済的負担の軽減を図るため、指定ごみ袋を配布することにより市民の生活を支援します。

(3)燃料価格高騰対策に要する経費・・・・・・・・・・ 1,455万円

燃料価格高騰の影響を受けている貨物運送事業者の負担軽減を図るため、補助金を交付します。

物価高対応子育て応援手当事業

物価高対応子育て応援手当に要する経費・・・・・・・・ 3億1,633万円

物価高騰の影響を強く受けている子育て世帯に対し、18歳以下の子ども1人につき一律2万円の現金を支給します。

第4回定例会における議案等の審議結果など

議案等番号	件 名	議決結果	議案等番号	件 名	議決結果
議第98号	令和7年度別府市一般会計補正予算(第4号)	原案可決 (全会一致)	議第115号	別府競輪市民広場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第99号	令和7年度別府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)		議第116号	別府市火災予防条例の一部改正について	
議第100号	令和7年度別府市地方卸売市場事業特別会計補正予算(第1号)		議第117号	指定管理者の指定について	
議第101号	令和7年度別府市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)		議第118号	指定管理者の指定について	
議第102号	令和7年度別府市競輪事業会計補正予算(第1号)		議第119号	指定管理者の指定について	
議第103号	別府市議会議員及び別府市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例及び別府市議会議員及び別府市長の選挙におけるビラの作成の公費負担に関する条例の一部改正について	原案可決 (賛成多数)	議第120号	指定管理者の指定について	
議第104号	特別職の常勤職員の給与及び旅費に関する条例等の一部改正について		議第121号	指定管理者の指定について	
議第105号	別府市職員の給与に関する条例等の一部改正について	原案可決 (全会一致)	議第122号	指定管理者の指定について	
議第106号	住居表示の実施に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について		議第123号	指定管理者の指定について	
議第107号	別府市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について		議第124号	公の施設を他の普通地方公共団体の住民の利用に供することに関する協議について	
議第108号	別府市印鑑条例の一部改正について		議第125号	公の施設を他の普通地方公共団体の住民の利用に供することに関する協議について	
議第109号	別府市営合葬墓の設置及び管理に関する条例の制定について		議第126号	他の普通地方公共団体の公の施設を本市の住民の利用に供させることに関する協議について	
議第110号	別府市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について		議第127号	他の普通地方公共団体の公の施設を本市の住民の利用に供させることに関する協議について	
議第111号	別府市水道事業給水条例の一部改正について		議第128号	字の区域及びその名称の変更について	
議第112号	別府市下水道条例及び別府市公共下水道の構造等の基準に関する条例の一部改正について		議第129号	令和7年度別府市一般会計補正予算(第5号)	
議第113号	別府市競輪事業の設置等に関する条例の一部改正について		議員提出議案第9号	巨大災害発生に対する対応体制整備を求める意見書	原案可決 (全会一致)
議第114号	別府市競輪事業建設改良基金条例の一部改正について			議員派遣の件	原案可決 (全会一致)

賛否の分かれた議案等賛否一覧表

議案 番号	件 名	議決 結果	会派・議員名																							
			自民新政会							公明党				市民クラブ		創世会	ビーワンベッブ	弱い立場の人に政治の光を	新たな別府を創る会	日本共産党	創る未来の会	日本維新の会	有志の会			
			8 人							4 人				3人		2人	2人	1人	1人	1人	1人	1人	1人			
			山 本 一 成	松 川 峰 生	松 川 章 三	吉 富 英 三 郎	小 野 正 明	安 部 一 郎	阿 部 真 一	日 名 子 敦 子	市 原 隆 生	穴 井 宏 二	小 野 佳 子	重 松 康 宏	加 藤 信 康	森 山 義 治	三 重 忠 昭	野 口 哲 男	黒 木 愛 一 郎	森 裕 二	谷 口 和 美	泉 武 弘	森 大 輔	美 馬 恭 子	中 村 悟	石 田 強
議第104号	特別職の常勤職員の給与及び旅費に関する条例等の一部改正について	原案可決 (賛成多数)	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○

議案賛成者は「○」、反対者は「×」、退席者は「－」、欠席者は「欠」、議長は「／」(採決に加わらない為)、法律により採決に加われない議案は「除」



(可決された意見書をHPにて、掲載しています)

議案質疑

（議案質疑の詳細はHPにて掲載しています。
※6ページの内容は、「12月17日(水)」の項目
からご覧になれます。



今定例会の議案質疑では、執行部が提出した令和7年度各会計補正予算や条例などの議案に対し、12月5日に6人の議員が、12月17日に3人の議員が質疑を行いました。そのうち主な質疑内容を掲載します。

議第98号 令和7年度別府市一般会計補正予算(第4号)

【美術館施設整備に要する経費の追加額について】

問 今回の追加額に関する具体的な改修内容はどのようなものか。

答 1階の既存空調機械室の空いたスペース約75平米を活用して、絵画等作品の収蔵庫に改修します。美術品の収蔵に関しては、温度管理及び湿度の調節などが必要となりますので、今回それらの機能を追加して、美術品の収蔵に耐えるものにしていく予定です。

問 今回の改修工事により、収蔵状況はどのように変化し、今後作品をどう管理していくのか。

答 令和7年4月1日現在、美術館が所蔵している美術品は1,068点。このうち常設展示できている美術品は133点で、残りの935点を収蔵スペースで保管している状況となっています。現状は作品と作品の間を狭めることで、何とか収蔵できている状態で、作品の入れ替えが困難な状況となっております。今回の収蔵庫への改

修により、温度管理や湿度の調節などでよりよい条件での収蔵が可能となります。また、収蔵スペースに余裕ができることで、作品の入れ替えも容易となり、より多くの収蔵品を観覧していただけるようになるものと考えております。今後、収蔵作品が増えた場合も対応可能となると考えています。



議第102号 令和7年度別府市競輪事業会計補正予算(第1号)について

問 今回、オートレース車券販売窓口を整備するということが、この事業は経済産業省に許可申請が必要とのこと。通常の流れだと、設置許可に係る申請を行い、設置許可が下りた後に予算計上となると思うが、今回許可が下りる前に予算を計上するのはなぜか。

答 小型自動車競走法に、許可の申請があったときは、経済産業省令で定める基準に適合する場合に限り、その許可をすることができるとあります。その基準とは、車券の発売等の用に供する施設を有することなどがあり、これらの設置許可要件を満たした施設に対して監督官庁が許可を与えるため、窓口整備に係る予算を申請よりも先に計上をしました。

問 競輪投票ポータルサイト運用費用の増で1億2,600万円の委託料増となっているが、この委託料の内訳は。

答 競輪投票ポータルサイト経費の内訳につきまして、広告宣伝等の投票ポータルサイト活性化事業として1億円。システム保守費として985万円。資金送金、決済、映像利用、予想サービス利用等のシステム運用費として719万1,000円。問い合わせ対応のヘルプデスク経費として175万円となります。

議第109号 別府市営合葬墓の設置及び管理に関する条例の制定について

問 合葬墓には集合安置室、合葬室、参拝スペースが設置されるが、その概要は。

答 集合安置室は合葬墓の地上部にあたり、骨つぼを棚に並べて安置する形で約3,400柱を埋蔵できる場所となります。また集合安置室への立ち入りはできず、集合安置期間は20年間としており、20年後は納骨袋に入れ替え、自動的に合葬室に埋蔵されます。合葬室は、合葬墓の地下部分にあたり、お骨を専用の納骨袋に収めて合同で埋葬する形で、約8,000柱が埋蔵されるスペースとなります。合葬室は、集合安置室と同様に立ち入りはできない場所となります。参拝スペースは、合葬墓外部の正面に位置し、合葬墓に埋蔵されている故人をお参りや献花のできる場所となっており、墓参りの方はこちらでお参りしていただくことになります。

問 現在建設中の市営合葬墓の一般公募の開始時期はどうなっているか。

答 市報等でのご案内期間を確保させていただき、現場の受け入れ体制を整えた上で、来年度早い時期に公募を開始したいと考えております。

問 一般公募の料金体系はどのようになっているのか。

答 合葬墓の一般公募には、主に2通りございます。集合安置室にお骨を安置することを希望された方については、1柱につき11万円をいただきます。集合安置されたお骨は、20年後に自動的に合葬室へと移されます。他方、直接合葬室に埋蔵することを希望される方については、

お骨を納骨袋に納めていただいた上で、1柱につき4万4,000円をいただくことになります。なお、どちらのタイプも生前予約が可能となっております。

問 今回、集合安置室、合葬室、記名板の料金が提示されているが、料金設定はどのように決定したのか。

答 すでに合葬墓を設置している類似団体を参考に料金設定を行い、その中でも安価な設定をしました。

問 身寄りのない方などは合葬墓に申し込みできるか。

答 承継を必要とされない方なども含め、一般公募と同様に生前予約をお受けできます。その際の料金体系につきましては、一般公募と同様となります。



議第115号 別府競輪市民広場の設置及び管理に関する条例の一部改正について

問 入浴料を上げるようになった理由は。

答 令和2年10月に市営温泉が入浴料の改定を行って以降、料金の差が生じ、入浴料の安い競輪温泉を利用する方が増え、利用者からはゆっくり入浴ができないというご意見をたびたびいただいております。市営温泉と同水準に入浴料を見直すことにより、市営温泉と競輪温泉の利用者のバランスを保ち、また利用者が快適に利用できるように、競輪温泉の適正な管理を実施していきます。

問 市営温泉では30回券は市民のみが購入できるが、競輪温泉は市民以外の方も1月入浴券が購入できるのはなぜか。

答 競輪温泉は、全国でも珍しい競輪場の敷地内にある温泉施設です。競輪場には、市外からの来場者も多く、こうした施設の特性上、利用者を市民に限定するのではなく、競輪ファンサービスとして、市外の方にも1月入浴券を販売しております。

令和7年度別府市一般会計補正予算(第5号)について

物価高騰対策エール券発行に要する経費について

問 プレミアム商品券事業の内容は。

答 今回のプレミアム商品券事業は、物価高騰の影響を受ける市民の皆様に広く支援が行き届き、市民の経済的負担の軽減とともに、地域経済の活性化を図る事業となっています。これまでプレミアム商品券を6回実施しており、プレミアム率は全て30%でしたが、今回はプレミアム率を50%としています。また、販売総数は、これまで20万冊でしたが、今回は倍となる40万冊とし、紙商品券と電子商品券をそれぞれ20万冊としています。プレミアム分を加算して、1冊7,500円分の商品券を、5,000円で販売します。券種の内訳は、一般商店専用500円券が9枚と、大型店・一般商店共通500円券が6枚を予定しております。1人でも多くの方に購入していただくため、商工会議所と協力して事業を実施します。

物価高騰対策に要する経費について

問 物価高騰対策に要する経費の内容は。

答 昨今の物価高騰による市民の家計への負担軽減等のため、前回も好評だった指定ごみ袋無料配布事業を今回も実施します。

問 3種類から選択制ということで、需要に偏りが出てくると思うが、この対応は。

答 前回実績としては、現在のところ、可燃物大30枚が65%、可燃物小60枚が18%、可燃物の大と小を混ぜ合わせた各20枚が16%でした。今後、物価高騰対策として緊急に実施する必要があるため、即時対応できる契約方式を検討したいと考えております。

燃料価格高騰対策に要する経費について

問 今回、旅客運送事業者を入れなかった理由は。

答 旅客運送事業者に対しては、国のタクシー事業者に対する燃料価格激変緩和対策事業や、県の乗り合いバスやタクシーに対する地域公共交通燃料高騰緊急支援事業による助成が数次にわたって講じられています。一方で、貨物運送事業者は、燃料高騰に加えて、時間外労働の上限規制による人件費の上昇、資材の高騰などで、コストが増大し、厳しい経営を強いられている中、燃料サーチャージ制度により、燃料高騰分は荷主への転嫁が原則となっているため、国や県の助成が届きにくい分野であることから、国の事業者支援のメニューの中でも、必要性が高いと判断し、貨物運送事業者の支援をすることといたしました。

物価高対応子育て応援手当に要する経費について

問 物価高対応子育て応援手当に要する経費の内容は。

答 支給対象者については、大きく次の二つに分けられます。一つ目は、令和7年9月分の児童手当が支給されている方です。二つ目は、令和7年10月1日から令和8年3月31日までに出生した児童の父母等です。申請手続については、市から令和7年9月分の児童手当が支給されている方は申請不要です。市からお知らせ文書を郵送し、後日、児童手当受給口座にお振り込みします。なお、支給を希望しない場合は、市が定める期日までに届出書を提出していただきます。一方、令和7年9月分の児童手当が支給されている公務員の方は、申請が必要となります。勤務先の所属庁における令和7年9月分の児童手当受給者であることの証明欄のある申請書を令和7年9月30日時点でお住まいの市区町村に提出していただくことになります。次に、令和7年10月1日から令和8年3月31日までに出生した児童の父母等は、申請書の提出が必要です。基本的には、児童手当の申請の際に一緒に提出していただくことになります。ただし、出生後既に児童手当の申請が終了している方は、支給を希望しない場合を除き、申請の必要はありません。

常任委員会審査

本会議での提案者の説明及び質疑が終了した後、さらに詳しく検討するため、常任委員会等に議案審査を付託しています。

●総務企画消防委員会

「議第98号」政策企画課関係部分では、ふるさと納税の利用拡大や宿泊関係の寄附額が増加したことに伴い、歳入で湯のまち別府ふるさと応援寄附金を1億9,183万9,000円計上すること、また、歳出において、寄附の受付から返礼品の配送までに係る一連の経費について、当初の予算額を上回ったことにより、関係経費の追加額を計上すると説明がありました。

委員から、ふるさと納税などの寄附を活用し

ている事業について質疑があり、別府の魅力を生かす観光資源や温泉、環境整備などの事業に充てていると答弁がありました。

また、別の委員からふるさと納税の返礼品に関する質疑があり、当局から、昨年度は、宿泊関係や入浴剤など、別府ならではの品が返礼品として多くの希望をいただいたとの答弁がありました。

●観光建設水道委員会

競輪事業会計補正予算において、収益的支出では、競輪投票ポータルサイトの運用経費を計上しており、令和8年3月末からの運用開始に向けたスケジュール等について詳細な説明がありました。

一方、資本的支出では、施設整備費として別府競輪場においてオートレース車券発売を行うための発売窓口改修費等を増額計上しているとの説明がありました。

委員より、競輪投票ポータルサイトでのオー

トレース車券の発売は考えているのかとの質疑があり、当局から、民間ポータルサイトでは競輪とオートレースの両方の車券を同時に購入できるものもあるが、まずはオートレースの仕組み等を確認しながら慎重に検討していきたいとの説明がありました。

指定管理者の指定については、一般社団法人結色に別府市ものづくり支援等複合施設のうち地域共生広場の管理を行わせようとするものとの説明がありました。

●厚生環境教育委員会

「議第98号」こども家庭課関係部分では、家事や子育てに不安や負担を抱える家庭や、妊娠婦等のいる家庭に訪問支援員が伺い、不安や悩みの傾聴や家事・育児等の支援を行う事業の利用者数増加に伴う経費等を計上しているとの説明がありました。

委員から、利用者数の増加理由についての質疑があり、当局から、子育て家庭の孤立や、家事・育児負担による不安が増加しており、訪問支援の必要性が高まっていること。

また、こども家庭センターの開設により、支援につながりやすくなったことを増加の要因と考えているとの回答がありました。

次に、「議第101号」高齢者福祉課関係部分では、委員から、成年後見人等支援事業の申請者の増加理由について質疑があり、当局から、高齢者数が増えたこと。また、別府市成年後見支援センターでの周知が広がったこと等により、申請件数が増加していると考えているとの回答がありました。

一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。12月議会では12人の議員が市当局の見解をいただきました。主な内容は次のとおりです。

弱い立場の人に政治の光を

いずみ
泉

たけひろ
武弘 議員



『どうする福祉財源』

問 高齢者などの社会保障費の増加見込みは。

答 高齢化で介護費用は増加、障がいのある子どもにかかる福祉サービス費用も増加する見込みです。

問 出生者、働く世代減少の一方、高齢者などの社会保障費は増え続けるが、福祉財源はどうするのか。

答 温泉効果を、医療・美容・健康などに生かしながら、更に観光消費を伸ばし、それを財源として福祉の充実に取り組みます。

問 コロナ後旅行形態が変化し、心身の健康を求める旅行が増えている。これまでの観る観光、買い物、食事に加え、美容、ヨガ、座禅、自然体験、フィットネスなどの心身の健康を取り入れたウェルネスツーリズムを推進しているが経済効果は。

答 世界のウェルネス市場は年々拡大し、概ね1,200兆円規模になるというふうに言われております。

問 ウェルネス事業は温泉が必要。どのように確保するのか。ほかの温泉への影響は。

答 温泉の新規掘削はしません。既存温泉の余剰湯等を有効活用します。

問 ウェルネス拠点施設は市民の健康づくりにどのような効果が。

答 健康の維持、増進を図っていただくことと併せて、施設には研究機能がありますので、自身の体にどのような効果が出ているのかが見える仕組みができればと考えています。

問 ウェルネス推進は市を挙げて取り組む必要があるが。

答 商工会議所、大学、九州大学別府病院等、自治委員会など10の団体と会議をしながら進めております。

問 議会の大部分が賛成している。今後議会と連携すべきだと思うが。

答 お知らせできる状況になれば、議会へ情報提供し、同じ方向を向いて力を合わせていきたいと思っております。

日本共産党

みま
美馬

きょうこ
恭子 議員



『学校給食無償化・食材の選択』について

問 6月議会で多くの市民の署名を基に請願を提出した。県内他の市町村では、国の3党合意を踏まえ、独自の無償化に踏み切る自治体もあると聞く。国においても公立小学校を対象に4,700円を基に保護者の所得にかかわらず一律補助するという方針が示され、2026年4月から無償化が実施される方向だが、別府市としての独自の施策は無いのか。

答 国の制度設計の内容を注視して、本市としての方向性を決定したいと考えています。併せて、スムーズな制度移行に向けて、様々なパターンを想定した諸課題の整理を進めてまいります。

問 減農薬野菜の学校給食での活用はどう進めていくのか。別府市は農業人口が少ない。若い人や、移住して農業に従事したいと考える新規就農者にとって、安定的な収入が必要であることは言うまでもないが、減農薬野菜やオーガニック野菜の安定的な販路として学校給食は非常に有望である。学校給食に恒常的に関わることは、食を通じて子どもの育ちを支えることであり、これも「子育て支援」のあり方であると思う。農家の立場から持続可能な子育て支援に参画することが、学校給食を通して実現可能ではないかと考えるが、この点を今後検討できないか。

答 減農薬野菜を学校給食に取り入れるために、今後、子どもたちと生産者による交流等の機会を捉えて、持続可能で効果的な事業推進に更なるご理解とご協力をお願いするとともに、令和8年度導入を目途に実務的な協議にも着手していきます。減農薬野菜は、市場においても一般的な栽培方法と比較して割高となっており、実務的な協議の中でその価格のあり方についても調整を図ってまいります。

創る未来の会

なかむら
中村

さとる
悟 議員



『認可保育所・認定こども園における主食持参方式の課題と改善』について

問 保育園の調理設備補助や主食費の助成等を実施し主食(お米)園提供方式への支援策を検討できないか。

答 他の自治体の実施状況等を確認するなどし、市としてできるのかなど、慎重に判断していきたいと考えています。

『メガソーラー計画に関する課題と市の対応』について

問 FIT / FIP (固定価格買取制度)の買取価格低下による収益性の悪化により事業者が倒産した場合、太陽光パネルが放置され景観・環境・安全面が侵されてしまう。別府の美しい景観を壊すことがないように環境に配慮し別府市民の声を傾聴することを重視して頂きたい。

答 メガソーラーの導入は地元の理解が重要な導入条件になるうかと考えております。その前提の上で、関係機関との連携を図りながら、自然環境や生活環境、地域資源の保全について適切な対応をしてまいりたいと考えております。

『多頭飼育崩壊』について

問 行政からの連絡を受け、猫活動グループが現場に入ったものの猫の保護に関わる全てがボランティアの自己負担になり、猫の通院費用や投薬費、餌代等々高額な費用負担が苦しいとのこと。飼育者本人の自己責任と公の行政の立場と簡単ではない問題だが、放置されたら周辺住民にとって重大な住環境問題になる問題のしわ寄せがボランティアに費用負担から全て背負っていただく現状についてこのままでいいのか、という疑問が湧く。以上について行政としてどう考えるか。

答 不妊去勢手術助成金事業の活用による財政的支援の他、ボランティア団体や猫活動グループなどの知見も得ながら、おおいた動物愛護センターと連携して問題解決に向け行政として最大限の支援が図れるよう模索してまいります。

新たな別府を創る会

もり
森

だいすけ
大輔 議員



『持続可能な自治会運営』について

問 住民と行政をつなぐ地域のパイプ役を担う自治会、そして地域振興の担い手となる自治会員さんの存在は、別府市にとって大変意義ある役割を担っている。一方で、少子化、高齢化、そして人口減少などの影響により、多くの地域で自治会加入者の減少や担い手不足などの課題に直面している。自治会の加入率が減少する要因として「様々な負担への抵抗感」や「メリットが見えにくい」などのご意見をお聴きする。そこで別府市として、自治会に加入することで得られる「目に見える特典」を作り、加入率の推進を図る必要性の認識を深めるべきと指摘する。例えば、市営温泉や市営施設の利用割引券の配布をしたり、市内の宿泊飲食温泉施設と連携した特典作りを実施したり、デジタルポイントを付与して市内の店舗で買い物ができるなどの構想をして、自治会に加入する「メリットの見える化」を進めるべきではないか。

答 自治会は任意の組織であるので、行政が直接割引券などを配布することは難しいですが、柔軟な時代に即した取組や自治会の主体的な取組を支援してまいります。

問 別府市は敬老祝賀会を主催する自治会に対し、地区敬老会交付金を実施している。それぞれの自治会では、先輩世代の福祉の増進のため参加者を促す取組に大変なご尽力をいただいている。しかし、近年の物価高の影響により祝賀会やお祝いの品の内容を見直さなければならない厳しい状況にある。これを契機に、自治会に対する交付金や補助金に関する様々な疑問を解消すると同時に、今後も自治会の皆さんが物価高でも無理なく行事を継続していけるように制度設計の改正に前向きに取り組んでいくべきではないか。

答 高齢者の皆さんが、敬老行事などを通じた交流の機会を確保することは重要であるため、各自治会における敬老会の交付金については、制度設計を含め、引き続き協議していきたい。

自民新公会

あべ しんいち
阿部 真一 議員



日本維新の会

いしだ つよし
石田 強 議員



「物価高騰対策」について

問 現在国会で審議入りしている物価高騰対策（重点支援地方交付金：全体予算約2兆円）は、全市民が享受できる政策制度設計の必要があると考える。市民の物価高騰の負担軽減解決のため、市民ニーズやこれまでの議会からの提言を反映させ、市民の最大公約数を担保できる政策制度設計を打ち出すべきと考えるが当局の考えは。

答 これまでの物価高騰対策においても、一般質問等を通じて議会からのご要望、ご意見を聞いた上で、市民アンケートの結果等も踏まえ、執行部として総合的に判断し決定しています。今後もスピード感を持った予算編成に努め、予算審議の中で説明を尽くすとともに、議会からのご意見・ご指摘を受け止め、適正な事業執行に努めてまいります。

問 物価高騰対策に関する政策のうちガソリン税暫定税率廃止に関して、来年度以降の別府市財政への影響は。

答 ガソリン税暫定税率廃止に伴う財政措置に関しては、詳細が明らかになっていませんが、地方財政対策による地方の一般財源総額の確保の中で手当される可能性を考えているところです。

問 ガソリン暫定税率廃止に伴い、本市の給油所事業所の多くは店頭価格表示をしておらず、市民が市場価格を比較することができない状況である。価格表示について県は新たな制度を推進している。今後当局としてどのように県と連携して事業所に要請していくのか。

答 価格表示の取組に対しては、ガソリンスタンドに対する新たな県の助成制度「地域あんしん給油所制度」が始まっていますので、県と連携し制度の周知に取り組んでまいりたいと考えております。

「温泉行政」について

問 市営温泉の多くが赤字であり、将来を見据えた運営の見直しが必要だと考える。特に別府駅周辺では市営温泉が近接し、不老泉と田の湯温泉も至近距離にある。こうした配置状況も踏まえ、市営温泉全体を持続可能にしていくため、施設数の適正化や事業規模の見直し、例えば田の湯温泉の民間移管なども含めたコスト削減を検討すべきではないか。

答 市営温泉の在り方については、将来を見据える中で時代に即した施設の運営管理や利用者のニーズなど、様々な観点から慎重に取り組む必要があり、市民の日常生活の一部であり、地域のコミュニティの場として掛け替えのない存在であることも踏まえながら、今後の在り方について、可能性を検証することが重要であると考えています。

問 温泉文化を守りながら将来にわたり健全な運営を続けていくためには、収支面の改善も避けて通れない重要な課題だと考える。多くの温泉地では、市民料金と観光客向け料金を区分することで、市民の利用に配慮しつつ増収を図っている例が見られる。別府においても、観光客数の多さを踏まえれば、こうした料金体系の導入は市営温泉の収支改善に一定の効果があるのではないかと考える。市営温泉における観光客向け入浴料金の設定について、市の考えは。

答 市営温泉の入浴料については、令和2年10月に改訂し、受益者負担の原則による収支の改善に留意しながら、市営温泉を日常的にご利用いただく市民の皆様に配慮した料金設定としています。観光客向けの料金設定への考え方ですが、観光客等の利用状況や本市の市営温泉の存在価値を十分に考慮しながら、他市の状況等を十分に把握・検証しながら研究していく必要があると考えます。





「0歳からの頭の形・ヘルメット治療」について

問 赤ちゃんの頭の形は、さまざまな要因でゆがみが起こった場合、運動や言語の発達で遅れる等のリスクがあると発表がされている。アメリカでは頭蓋矯正ヘルメット治療が導入されて95パーセントの方が治癒している。「頭蓋変形症」とはどのようなものか。

答 頭蓋変形には、左右の差が出る斜頭症や前後方向に短い短頭症、左右方向に狭い長頭症などがあります。原因は大きく二つあり、一つは病的要因である「頭蓋骨縫合早期癒合症」で頭の形状や脳の発達に影響が生じ、手術が検討されます。二つ目は「位置的頭蓋変形症」で、これは向き癖など外圧によるもので、病気ではなく、多くは後頭部の変形で、片側が扁平化する斜頭症や全体が扁平化する短頭症が含まれ、乳児の場合、専門医による鑑別診断(頭蓋検診)が重要です。

問 頭蓋変形症がヘルメット治療の対象になるようだが、治療を開始する時期とどのような治療か。

答 治療開始の適齢期は、頭の形が柔らかい生後2カ月から6カ月とされており、1日に23時間の装着を基本に3カ月から6カ月ほど続けます。頭蓋の成長を利用し、突出部分への圧調整により、形態の改善を図るものです。

問 この治療法は、現在、保険適用外で40万円から50万円ほどかかり100パーセント自己負担である。子育て中の親の負担は重い。静岡県三島市では、購入費の一部である10万円を全国で1か所のみ助成している。来年4月からは別府医療センターでも治療が開始されるとお聞きした。別府市の考えはどうか。

答 ヘルメット治療は頭の形など見た目のゆがみを整えることを主な目的とした自費診療であり他の自由診療との公平性の観点から慎重な検討が必要と考えております。



「買い物弱者への支援」について

問 買い物弱者に対して、どのような考えや見解をもっているのか。

答 高齢化が進むなか、買い物弱者の数は更に増加するものと予想されます。買い物の機会を確保し移動手段の制約などの課題に対し地域の安心・安定した暮らしを支える重要な課題であると認識しています。

問 買い物に困っている市民の現状は。

答 地区ごとに開催したワークショップにおいて、路線バス減少等による買い物・通院難民がいることは把握しています。また生活支援体制整備事業においても自治会より買い物支援の課題が上がったことがあります。

問 別府市は、別府で暮らす人々の幸福度の向上を図る目的で包括連携協定を締結しているが、具体的な支援の内容は。

答 令和3年8月に生協協同組合コープおおいたと締結した連携事項の中に、買い物支援に関する項目があります。令和6年2月に締結し、同年4月から実施している株式会社イズミとの買い物支援の中には、エリア限定の持ち帰り有料配送サービスがあります。

問 別府市における買い物支援としてどのようなものがあるのか。

答 介護保険法の訪問介護事業による買い物支援、また民間企業による移動販売、店舗までの送迎サービス、商品を届ける宅配・ネットスーパー、買い物代行・同行の支援があります。

問 今後更に単独世帯が増えるなか、企業と包括連携を取りながら移動販売の支援体制を整えていくべきと思うが、市の考えは。

答 福祉関連の施策にとどまらず、公共交通機関の施策、地域コミュニティの活性化等広範囲に及んでいますので、関係各課、地域各種団体や民間企業などと相互連携できるよう努めてまいります。

有志の会

しお て ゆう た
塩手 悠太 議員



「〜新湯治・ウェルネスと共同温泉の継承〜」について

問 新湯治・ウェルネスを推進するうえで核となるのが扇山下に設置予定の研究実践拠点施設であるが、東京ドーム約1個分の面積内に公共施設である、市民エリアを含めた3つのエリアと民間事業者の提案エリアから構成されると仮定されているが、上下水道関連や道路工事を含めてかなりのお金が必要になると推察する。別府市は全て民間事業者が負担してくれることを考えているが、もし別府市が負担する部分が出てきた場合にお財布事情と相談して、いくらまでならお金を負担できると考えているのか。

答 基本計画にて事業方式等を検討中であり、市民エリアを含めて民間資金の活用が基本ですが、財政負担が生じる場合は、国庫補助金や基金を活用することを考えている。

問 この拠点施設の肝となるのは温泉であるが、別府市の温泉資源への影響が心配される状況で必要な湯量が確保できない場合でも新規掘削は今後、一切行わないということで良いのか。

答 今あるものを活用することを前提とし、新規掘削は行わずに未利用湯となっているものや既存泉源からの給湯を有効活用する為に、現在も複数の関係者と協議、交渉を慎重に行っているところです。

問 別府の風物である共同温泉文化ですが、収入減や担い手不足、高齢化等で管理運営が年々、厳しい環境となってきたなかで、存続継承に向けて自立することを前提に一定の条件で維持管理に必要な経費の一部を公的補助することが必要であり議論するべきだと思が見解は。

答 共同温泉を持続可能とするために、共同温泉と民間企業の協業など、経営、運営改善に向けた取り組みも含め、新たな手法を模索します。



自民新公会

ひ な ご あ つ こ
日名子敦子 議員



「新図書館オープンに向けて」

問 新図書館の進捗状況について。

答 システムの更新およびIC機器の導入により、自動貸出機の運用やオンラインでの利用者登録が可能となります。地域・郷土資料館の展示制作やカフェの開業準備、システムのネットワーク敷設工事などを進めます。

問 図書購入、資料整備の進捗について。

答 歴史、自然科学、産業、芸術など様々な資料を揃え、これまで十分に提供できていなかった仕事に役立つ資料、日常生活に関わる事柄から地域が抱える様々な課題の解決に参考となる資料なども提供できるようコレクションを構築していきます。

問 指定管理者の情報管理について。

答 個人情報の保護等については、指定管理者との協定及び法令に基づき情報の管理を徹底します。

問 3つのコモンズについて。

答 ラーニングコモンズは、図書館の資料を活用しながら学びあえる場所で、蓋つきコーヒーを飲んだり会話もできます。アクティブコモンズは、明るく開放的な交流サロンとカフェとなっております。クリエイティブコモンズの多目的ホールは長机と椅子を並べた時の利用定員は60人程度で、各種講座やセミナー、ワークショップなどに活用でき、それらに必要な備品を備えます。スタジオは防音仕様の部屋で楽器等、備品の充実を図ってまいります。

問 新図書館と複合施設が市民に愛され、信頼できる施設となるよう、今後どのような運営を目指すのか。

答 図書館本体は直営とし、司書の増強も図ってきました。多様な市民が集い、起業創業支援を含め、様々な課題解決や賑わいの拠点になるようにしていきます。どこの図書館にも負けない、成長を続けていく図書館こもれびパークを目指します。

公明党

しげまつ
重松

やすひろ
康宏 議員



市民クラブ

み え
三重

ただ あき
忠昭 議員



「歯周病対策」について

問 歯周病とはどのような病気か伺う。

答 歯周病とは細菌の感染によって歯茎が赤く腫れたり、歯を支える骨が溶けてしまう病気です。自覚症状があまりなく、気づいた時にはかなり進行していることが多く、成人の歯を失う原因の第1位とされています。また、放置すると口から全身に細菌が侵入し、糖尿病や脳血管疾患、認知症等に影響を及ぼすことが分かっています。

問 歯周病予防として、別府市では20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳の市民を対象に歯周病検診を行っているが、全国的にも検診率は低い。検診率向上の取組について伺う。

答 対象者に受診券を兼ねた圧着の案内ハガキを送付しています。圧着ハガキは開封しなくても内容がひと目でわかるように、また「4,000円相当の検診費用が無料になります」といった文面も加えて、受診行動につながるような工夫をしています。その他、チラシの配布、ポスター掲示、SNSでの情報発信等おこなっています。

問 自治体と医師会、歯科医師会との連携も大変重要と考える。今後どのように医科歯科連携を進めていくのか。

答 糖尿病を始め全身の健康と口腔の健康が密接に関連していることが明らかになっており、医療と歯科医療が協力して市民の健康をサポートすることが重要です。医療機関から糖尿病患者へ歯科受診を勧める、逆に歯科に受診した方に特定健診や医療機関受診を勧める、勧めた後に相互で患者をサポートしていく、この医科歯科連携の仕組みを行政が医師会、歯科医師会と整備し、市民の健康寿命延伸のために協働してまいりたいと思います。



「学力テスト」について

問 不登校・いじめの増加のうらには学校生活の息苦しさ・窮屈さがあるのではないかと指摘されている。その大きな要因の一つに、学力向上施策に関して、そのなかの一斉学力テストが子どもたちへの負担になっているとの指摘もある。毎年新年早々に実施される、市の一斉学力テストを一度中止し、それによって子どもたちや、学校現場にどのような変化が見られるか考えるのも教育委員会の役割と考えるが。

答 一定以上の教育水準の維持向上に努め、適切に指導することは私たちの責務であると思っております。これからも子どもたちが安心安全に学べる教育を推進してまいります。

「男女共同参画の取り組み」について

問 男女共同参画推進の拠点となるセンターの運営について、条例改正が行われ、センターの機能の1つである学習の場の研修室がなくなり、今後の別府市における男女共同参画推進への支障や後退が懸念される。今後の活動の継続のサポートと、市として男女共同参画推進の意気込みを聞かせて頂きたい。

答 これまで同様に「あらゆる分野への女性の参画促進」などこれら実現のために関係団体とも連携をとりながら、研修・啓発活動・相談体制の充実などをはかり、男女共同参画を推進していきたいと考えています。

「シニアカー購入補助金事業」について

問 現在の補助金要件に「新車の購入」「75歳以上」とあるが、高齢者の外出や社会参加の促進、免許証返納後の移動手段の一つとして考えていくためにも、「中古車でも可」「年齢の引き下げ」などをお願いしたい。

答 中古車購入への見直しについて前向きに検討していきたいと考えます。

令和7年度 常任委員会視察

常任委員会では、所管している分野に関する知識を深め、さらなる調査を進めるため、他自治体等の取組について、行政視察を行っています。

【総務企画消防委員会】・・・・・・・・・・ 令和7年5月14日(水)～16日(金)

- 災害体験について・・・・・・・・・・ 【埼玉県鴻巣市】
- 川越水上公園の防災設備について・・・・・・ 【埼玉県川越市】
- 地域防災計画について・・・・・・・・・・ 【栃木県宇都宮市】



埼玉県防災学習センターにて



宇都宮市議場にて

【観光建設水道委員会】・・・・・・・・・・ 令和7年10月15日(水)～17日(金)

- 市営住宅について・・・・・・・・・・ 【福島県白河市】
- 商店街の活性化について・・・・・・・・・・ 【福島県会津若松市】



白河市での視察の様子



会津若松市での視察の様子

【厚生環境教育委員会】・・・・・・・・・・ 令和7年11月13日(木)～15日(土)

- 「図書館と郷土・歴史物展示」について・・・・・・・・・・ 【熊本県熊本市】
- 「郷土・歴史物展示」について・・・・・・・・・・ 【熊本県熊本市】
- 「地域の活性化と図書館の在り方」について・・・・・・・・・・ 【宮崎県都城市】



熊本県立図書館視察の様子



都城市立図書館視察の様子

「広報広聴委員会」の取組について

広報広聴委員会とは、議会の広報及び広聴に関することを所管しており、本誌「べっぴん市議会だより」やホームページの編集事項の協議、「市民と議会との対話集会」の運営、議会見学の受入などを担当しています。



べっぴん市議会だより編集方針協議の様子



明星小学校議場見学受入の様子



議場見学にて議会について説明する様子

議会用語の解説について

「意見書」とは？

地方自治法の規定に基づき、議会は、市の公益に関することについて、国会や国の関係省庁などに対し、議会としての意思を意見としてまとめた文書を提出することができます。意見書の案は、議員または委員会が提出し、本会議でその可否を決めます。

「議会基本条例」とは？

議会の基本理念及び基本方針を定め、議会の役割を明らかにし、市民などの負託に的確にこたえていくことを目的に制定された条例です。議会の基本理念及び基本方針のほか、議会運営や議員の活動原則、議会と市長及び市民との関係、議会の機能強化などを規定し、平成28年3月に制定、同年4月に施行されました。



令和8年第1回市議会定例会 会期日程(予定)

- 2月27日 議案上程、提案理由説明
- 3月4日 議案質疑、委員会付託
- 5日 常任委員会審査
- 10日 各委員会委員長報告、討論、表決
- 11日～13日 予算決算特別委員会
- 16、18、19日 一般質問
- 23日 一般質問(予備日)
- 25日 予算決算特別委員会委員長報告、討論、表決

※日程は変更することがあります。

..... 請願・陳情

どなたでも市議会に請願・陳情することができます。請願とは、国や県・市に対し要望や意見を述べることをいいます。別府市議会に請願書を提出するには別府市議会議員の紹介が必要になります。

詳しくは別府市議会ホームページをご覧ください。議会事務局までお問合せください。

なお、令和8年第1回定例会の請願の受付期限は2月18日(水)17時までです。

本会議を 中継しています

別府市議会では、市民の皆さまに議会をより身近に感じていただけるよう、ケーブルテレビとインターネット、スマートフォン、タブレット端末による本会議の生中継と録画中継による本会議の放送を行っています。

放送日時

本会議開催日(午前10時から)

放送内容

議案の提案理由説明、議案質疑、一般質問など

放送メディア

● ケーブルテレビでの中継
C/TBメディアとんぼチャンネルで生中継します。

● インターネットでの中継
別府市議会ホームページ
<https://www.city.beppu.oita.jp/gikai/>

にアクセスしてお入りください。(また、全日程終了後、概ね1週間後から約2年間録画中継を放映しています。)

※議会中継は公式記録ではありません。公式記録は本会議後に調製する会議録となります。



別府市議会議員定数のあり方に関する 意見交換会を開催しました

現在、別府市議会では、14年ぶりに議員定数のあり方について、議会改革推進委員会において調査協議を重ねています。議員定数のあり方を検討するにあたり、今後、適切な議会運営を行っていくために必要な議員定数について、より広い視野で協議できるよう、市内の各方面18団体、25人の方々をお招きし、意見交換会を開催しました。

意見交換会の様子 日時:令和7年11月12日(水)



編集後記

令和7年11月18日に発生した佐賀県大規模火災により被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

別府市民の皆様におかれまして立春を迎え益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、市議会では何をしているのか(広報)と市民の意見を幅広く聞く(広聴)は議会機能として大変重要です。議会において執行部提案に対する議案質疑や一般質問内容など、また、各常任委員会での審査内容を読者の皆様にご理解いただければ幸いです。議決議案はいずれも市民生活に直結する極めて重要議案であり、その一つに可決した新図書館が3月にはオープンいたします。また、3つの常任委員会では、対話先を決定後、市民との対話集会を実施し建設的な意見をまとめ市長に提言しています。本年も活発な議会活動をお伝えいたしますのでどうぞ宜しくお願いいたします。

別府市議会広報広聴委員会

委員 森山 義治

No.181 令和8年2月1日

編集：広報広聴委員会

発行：別府市議会

住所 〒874-8511 別府市上野口町1-15 TEL 0977-21-1547

メール sec-cc@city.beppu.lg.jp ホームページ <https://www.city.beppu.oita.jp/gikai/>